

学び舎通信

1学期を振り返り、さらに充実した2学期に

先週、懇談会が開かれました。そこで担任の先生から学校生活や授業での様子、部活動への取り組みなどが話題に挙がったことと思います。

ホンダ創業者の本田宗一郎さんの言葉に、「百のうち九十九は失敗する」という言葉があります。続けて、「何が原因かを追及することに意義がある」とあります。冷静に自分を振り返ってみて、改めるべきところは改める。これまで通りで良いところは、そのまま継続する。冷静にもう一度見直してみましょう。第4号でも述べましたが、自分自身と向き合うこと、見つめることはやはり重要だと思えます。

私が担任したAさんからの手紙に書かれていた言葉を紹介します。

「気持ちが下向きだと毎日の生活も楽しくなくなり、気持ちを上向きに変えると、逆の生活を送れる」

Aさんは進級後、人間関係で悩んでいました。「前のクラスのほうが楽しかった」「今まで仲の良かった友達と仲が悪くなった」などとよくこぼしていました。

そのたびに、「このクラスで良かったと思える場面が少しずつ増えてくるといいね」「待っていても広がらないから、自分から友達の輪を少しずつ広げていけるといいね」と伝えてきました。

Aさんが変わり始めたのは、自分からクラスへと関わり始めてからでした。クラスメートと協力してクラス旗を作成したり、体育祭（旭中学校では体育大会）で参加する競技に奮闘するだけでなく、声援を互いに送り合って優勝につなげたりと学校行事を重ねていく中で、Aさんの表情はどんどん明るくなり、発する言葉も変わってきました。「毎日が楽しい」「冬休みはなくていいから、毎日学校に来たい」「このクラスで良かった」と何度も口にするようになりました。それを見て私も安心し、Aさんの前向きな姿に笑顔になれたことを覚えています。

さて、みなさんが中学校に入学して、3か月が過ぎました。クラスで過ごす時間を楽しんでいますか？ 30数名のクラスメートがいるのですから、いろんなことがあるかと思えます。一人一色だとすると、30数色。個性の輝きが各クラスのカラーとなって表れてきます。30数名が力を合わせると、どんなものを作り上げることができるのか？ 今から楽しみです。2学期には、文化発表会や体育大会が待っています。クラスの仲間たちがいたからこそ成し遂げられた達成感、充実感が待っています。まずは自分からクラスメートに働きかけて、クラスのために貢献していきましょう。きっと今まで感じることでできなかった時間を味わうことができると思います。

毎日過ごす中で、互いの魅力を見つけ、互いを高め合える場面を重ねてほしい。Aさんのような、充実していたと振り返ることのできると一年間にしてほしいと願っています。

（文責：水野千広）

夏休み中の出校日について

夏休み中の出校日には、すでに手元に渡っている7月の予定表に書かれているように、8月1日（火）、17日（木）の2回あります。2回目の出校日が、夏休みの課題提出日となっている教科もあります。計画的に学習を進めていくようにしましょう。

夏休みにしかできないことを

部活動に習い事。お父さんお母さんの実家で過ごす人もいることでしょう。休みは意外と早く過ぎるものですが、この期間だからこそできることもあります。家事のお手伝い、旅行先での体験、戦争体験や被災経験を持つ方の話。この休みを生かして、視野を広げてください。

サイバー犯罪防止教室で学んだこと

先日、サイバー犯罪防止教室が開かれました。講師の先生からお話を聞く前から、ネットの世界では、想像以上の早さで発信された情報（文章だけでなく写真も含まれます）が世界中に広がることを知識としては私も知っていました。

年々、スマートフォンを持つ生徒も増えてきているようです。便利なだけでなく危険性もあわせ持っていることを忘れないでほしいと思います。

♣サイバー犯罪防止教室の感想♣

サイバー犯罪防止教室を受けるまで、わからなかったところがあります。それは写真から場所が特定されてしまうことです。そのことを知って、少しこわいと思いました。

これから気をつけて、ラインなどを使っていきたいと思います。このサイバー犯罪防止教室は、自分にとって意義のあるものになりました。

1 A

映像を見て、この女の子のように友達に言われたからと言って、家族に「ダメ」と言われたことをしないようにしようと思いました。私は今、スマホは持っていませんが、買ってもらった時に、この「サイバー犯罪防止教室」のことを思い出して、犯罪に巻き込まれないように気をつけようと思いました。

1 C

私がサイバー犯罪防止教室で一番印象に残ったことは、映像の中の女の子が友達に誘われて、SNSで男の人と会ってしまったことです。女の子は写真を送って位置がわかってしまったので、拡散されたくない写真や、知らない相手に送らないようにしたいです。

1 E

僕はスマートフォンを持っていません。ですが、いつかスマートフォンを持つことになると思うので、持つときには家族とルールを決め、キケンがなく安全に使うことができるようにしたいと思いました。

1 G

スマートフォンはただ便利になったケータイと思っていただけで、そんな便利な道具に犯罪等とつながっている影があったとは驚きました。

今後、スマートフォンを使う際には、規制をかけようと思いました。それ以外にも自分でキケンかどうか見分けて使っていくようにしようと思いました。

1 I

私は今回この防止教室を受けて、自分でフィルタリングを外してはいけない！自分が特定されてしまうような情報を送らない！家族で決めたことを友達の意見だけで変えたりしない！ということなどがいろいろわかりました。この機会をきっかけに自分を見直したいです。

1 B

僕が感じたことは、たった一度のタップで、全世界に情報が流れるというこわさです。僕もスマホを持っているので、気をつけたいと改めて思いました。

普段使っているラインも一歩間違えるだけで、大変なことになってしまうというこわさも感じました。スマホは便利な分、その裏には「悪」がひそんでいるので、十分に気をつけて、これから生活していきたいです。

1 D

私もスマートフォンを持っているので、気をつけようと思いました。実際に知らない人からメールが来たことがあり、そのときはメールアドレスもあきらかにあやしく「……」と省略されていたので、親に話して消去しました。これからもあやしいと思ったら、親に相談しようと思いました。

1 F

スマホは便利な物だと思っていました。しかし、サイバー犯罪防止教室を終えて、スマホの正しい使い方や危険性を知って、すごく勉強になりました。これからスマホを使うようになったら、危険なアプリや知らない人と友達にならないなど、今回のお話を思い出して安全に使いたいと思いました。

1 H

ネットを利用する上でのネチケツト。使っていくなら、もう一度確かめてみませんか。相手を傷つける言葉を使っていませんか。送信前に文面の確認をしてみてください。



